

仕事の幅広さや目標をもつ大切さを知る講演と就職を軸にした進路指導で生徒の意識が変わった！

練馬工科高校（東京・都立）

テーマ ▶ 自己理解を深め、将来の仕事と就職を考える

目的 ▶ 就職を目指した進路指導

スタディサプリ for SCHOOL 活用法

●1年生



9月
『適性診断』
『じぶん探索ワークシート』
適性診断結果や自分の性格、
『好き』などから内面を知る。

11月
インターンシップ（全員）
リクルート担当者による講演
仕事に対する知識を増やす講演。



『未来事典ワークシート』
『未来事典』を読み、仕事人がど
んな価値観で仕事に取り組んで
いるのかを知り、興味ある仕事と
将来をイメージする。

●2年生

4月 リクルート担当者による講演

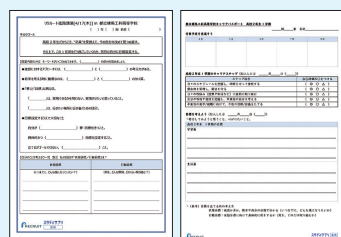
これから目標設定をするうえで大切なこと

立てるがゴールではない。行動すること

$$1.01^{365} = 37.8$$

$$0.99^{365} = 0.03$$

卒業や将来の目標に向けて、努力を積み大切さを説いた講演。毎日、0.01でもプラスの努力をすれば、『1.01の365乗=37.8』となり1年で大きな差がつく。この話に生徒たちも刺激を受けたという。講演後は下のレポートも実施。



6月
オープンキャンパス参加指導
『オープンキャンパスワークブック』

進学希望者は、1人2校以上のOC参加と1校以上の資料取り寄せ、参加校に関するレポートを提出。

7月 技能習得型インターンシップ（任意）



9月
『自分軸設計ワークシート』

自分が大事にしたい職業観について考える

11月 インターンシップ（全員）

取材・文／丸山佳子

課題

安易な進学ではなく、
就職を目指した進路指導を
徹底するには？

活用

刺激的な講演で、考え方と
行動を学び、ワークシート
で自己理解を深める

東京都には、小・中学校の学び直しができるエンカレッジスクールが6校ある。2006年、工業系初のエンカレッジスクールに指定された練馬工科高校は、安易に進学を目指すのではなく、働くことへの理解を深める教育を実施している高校だ。

「勉強が苦手で当校に入学したのに、生徒たちは就職という進路決定を先延ばしにするために、進学を考え始めます。人材不足で、工業高校の当校には8月時点で3700件以上の求人票がきています。自己理解と仕事への知識が増えれば、就職への自信もつきます。私が赴任した昨年、就職を軸にした進路指導を数社に相談し、生徒の実態に合ったプランを提案してくれたのがリクルートさんでした。今、そのプランで生徒たちが変わりつつあります」。そう話すのは、現在2年生の進路指導を担当する阿部芳恵先生だ。

「当校では、5年ほど前から1、2年生が全員参加のインターンシップを実施し、生徒が職業体験できる機会を増やしてきました。それでも、業種や職種に関する生徒たちの理解はなかなか深まりません。そこで昨年は、リクルートさんの提案でインターンシップ前に『適性診断』と自己理解を深める『じぶん探索ワークシート』に取り組み、インターンシップ後に、世の中にはたくさんの仕事があることをわかりやすく解説する講演を実施。さらに、100人もの職業人が登場する『未来事典』を読み、『未来事典ワークシート』で自分の考えをまとめる時間を設けました。インターンシップを体験し、外部の人の刺激的な講演を聞き、仕事を知るレポートを書くという流れが良かったですね。同じ学年の教員たちからも、すごく良かったと好評でした」と、阿部先生。

生と共に現在2年生の進路指導を担当している今木陽菜先生。

「当校はエンカレッジスクールなので、入学選抜の学力検査がありません。生徒の雰囲気は学年ごとに異なりますが、現在、私たちが担当している2年生は、日頃の指導もあり、進路について前向きに取り組もうとしています。求人も年々増えているので、この学年から進路指導を変えていきたい。その点も踏まえてリクルートさんに2年生4月の講演をお願いしたところ、『毎日、少しでも努力をすれば、1年で大きな差がつく。だから、3年生の4月までには進路決定できるように目標を立てて行動することが大切!!』という話に、生徒たちも日頃の生活を意識するようになりました。夏休みには、再度『未来事典ワークシート』を宿題とし、秋からは、仕事に関する自分の軸を考えていく『自分軸設計ワークシート』をやってみようかと相談しているところなんです。生徒たちがどんな反応をし、どう成長してくれるか楽しみです」と阿部先生。



写真右から
2年生進路担当 主任教諭
阿部芳恵先生（公民）
2年生進路担当
今木陽菜先生（工業科工芸系）

School Data

創立1962年／キャリア技術科（共学）生徒数418人（男子387人、女子31人）進路状況（2025年3月実績）大学16人、専門学校等40人、就職75人、職業能力開発センター3人、その他2人